

第65期

SANEI REPORT

2024年4月1日 — 2025年3月31日

水をつなぐ

SANEI 株式会社

証券コード | 6230



代表取締役社長
西岡 利明

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
第65期[決算期]SANEI REPORT(決算報告書)をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社は昨年9月に創業70周年という節目を迎えさせていただきました。これもひとえにこれまで当社を応援していただいた皆様からの長年にわたるご支援、ご愛顧の賜物であると心より感謝申し上げます。

当年度は、日銀によるマイナス金利政策の終了とともに約30年に渡り続いたデフレからの脱却となりましたが、急激な為替変動などによる銅価格やエネルギーコストの上昇などが製品コストを押し上げました。これに対して高付加価値製品の販売強化や価格の適正な見直しを実施し、得意先様にご理解、ご協力をいただけますように努力を重ねてまいりました。それらの結果もあり、当期の決算は売上高28,465百万円、昨年と比較して933百万円の増収となりましたが、創業70周年関連費用などもあり、親会社株主に帰属する当期純利益は1,254百万円、昨年と比較して94百万円の減益となりました。

次年度は2025年に入りアメリカ大統領による相互関税の実施やそれに伴う貿易戦争への懸念が高まる中、世界経済への先行きが不透明さを増しています。そのような状況ではありますがインバウンド需要の持ち直しは明るい材料となりました。

4月13日には大阪・関西万博が開幕し「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとし、半年間に渡り世界各国から技術や人々の交流が繰り広げられます。当社もブロンズパートナーとして、会場内の手洗い施設などにセンサー水栓(自動水栓)などを提供し、ご来場になる皆様が快適にお過ごしいただけるよう協賛しております。

また4月よりセレッソ大阪のメインスタジアムである「ヨドコウ桜スタジアム」とパートナー契約を締結し、メインスタンドに看板を掲示する運びとなりました。

大阪・関西がひとつになって世の中全体を盛り上げていけるよう努めております。

昨年は当社主力工場である岐阜工場に新工場棟(第1工場)を建設、社員食堂も併設し活気あふれる工場となりました。本年は組立工場(第2工場)の建て替えを計画、工場の自動化・バリアフリー化を推進し、生産拠点のさらなる効率化を進めております。

社会のあり方や人々の価値観が変化していく時代ですが、創業以来の理念である「人類ある限り水は必要である」を大切に、技術・感性を進化させてまいります。今期から「水をつなぐ」を新しいコーポレートメッセージに掲げました。これはかけがえのない水資源と人びとの大切な暮らしをつなぐ使命を表しています。当社は水まわりメーカーとして、これらの理念のもと、より一層の企業価値向上に取り組んでまいります。

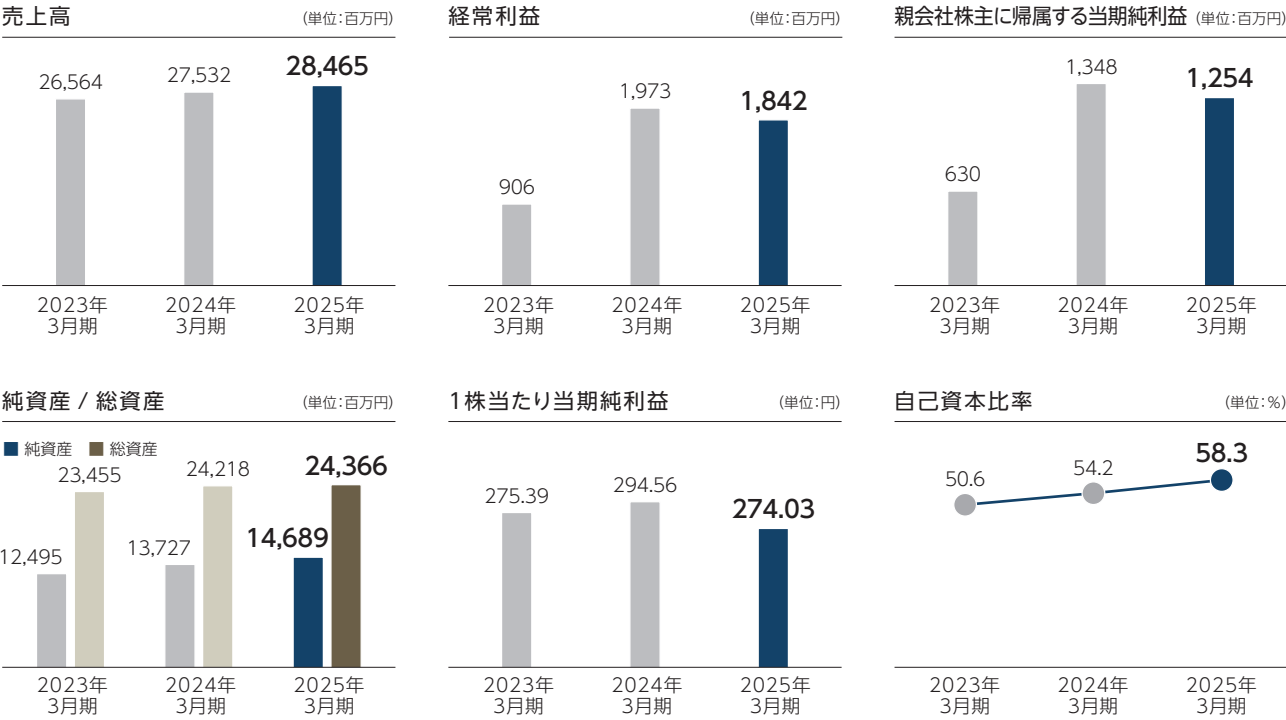
株主の皆様におかれましては、今後ともに変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2025年6月

決算ハイライト

Point

- 売上高は、販売価格改定の浸透とデザイン水栓シリーズ・ウルトラファインバブル製品や高機能シャワー製品など高付加価値製品の販売拡大により、前年より3.4%増収となりました。
- 利益は、原材料・仕入価格の高止まりや工場の増改築、周年行事など一時的な支出が増加し、親会社株主に帰属する当期純利益は前年より7.0%の減益となりました。



(注)当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

2025年3月期 決算説明記事のリンク(ログミーファイナンス)
<https://finance.logmi.jp/articles/381958>



株主還元

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策のひとつとして位置づけ、業績や将来の資金需要などを総合的に考慮しつつ、年2回の累進配当(原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を行う配当政策)を導入しております。

これまで2017年3月期から2025年3月期までの9期連続で増配しており、この実績を継続していくことを明確にするために累進配当を基本方針とし、株主価値の最大化に努めてまいります。

また、2024年10月1日付で1株につき2株の株主分割を実施しました。下記の配当実績は株式分割後を基準に換算したのになります。

なお、2025年3月期配当につきましては、前期実績より6円増配の「1株につき60円(中間30円・期末30円)」、2026年3月期配当につきましては、4円増配の「1株につき64円(中間32円・期末32円)」の配当を予定しております。

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)
	中 間 円 銭	期 末 円 銭	合 計 円 銭		
2024年3月期	24.50	29.50	54.00	247百万円	18.3%
2025年3月期	30.00	30.00	60.00	274百万円	21.9%
2026年3月期 (予想)	32.00	32.00	64.00	292百万円	20.2%

1 | 「大阪・関西万博」の会場整備参加にブロンズパートナーとして協賛

「2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)」の会場整備にブロンズパートナーとして参加しています。ご来場の皆様が快適に過ごしていただけるよう、「大屋根リング」や会場内に多数ある「休憩所」「トイレ」などの手洗い施設に水栓を提供しました。会場にお越しの際はご注目ください。



東ゲート付近のお手洗い

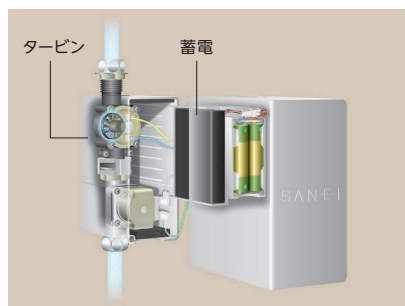


設計者：小林 広美 + 大野 宏 + 竹村 優里佳

協賛している製品の一部



自動水栓(発電仕様)
EY506HE-13



発電のしくみ

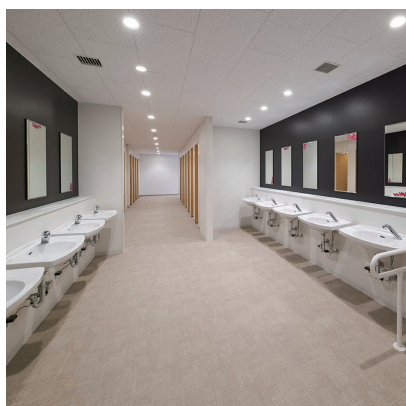
吐水すると、発電ユニット内のタービンが回転し、電気エネルギーが発生します。発生した電気エネルギーはユニット内に蓄電され、今後の作動のためのエネルギーとなります。



シングルワンホール洗面混合栓
K4732NJV-2T-13

2 | 水栓メーカーとしてスポーツ文化を支援

「ヨドコウ桜スタジアム」様のお手洗いや選手控室などに水栓を納入しておりましたが、4月よりメインスタンド上部に「水をつなぐSANEI」の看板を設置させていただくことになりました。これからもスポーツ文化の発展に寄与し、皆様とともに応援してまいります。



観客席トイレ



チーム更衣室



メインスタンド上部左側

会社の状況

会社概要

(2025年3月31日現在)

社 名 SANEI株式会社
所 在 地 〒537-0023
大阪市東成区玉津1丁目12番29号
事 業 内 容 給排水器具等の製造販売
創 業 年 月 1954(昭和29)年9月
従 業 員 数 642名(グループ連結 845名)

役員の状況

(2025年6月24日現在)

代表取締役社長 西岡 利明 社外取締役 瀧 勝巳
代表取締役副社長 吉川 正弘 社外取締役 永山 祐子
常務取締役 新田 裕二 常勤監査役 岸田 敏雄
取締役 早川 徹 社外監査役 松井 浩一
取締役 丸川 達也 社外監査役 大原 信子
取締役 松井 優樹

株式の状況

(2025年3月31日現在)

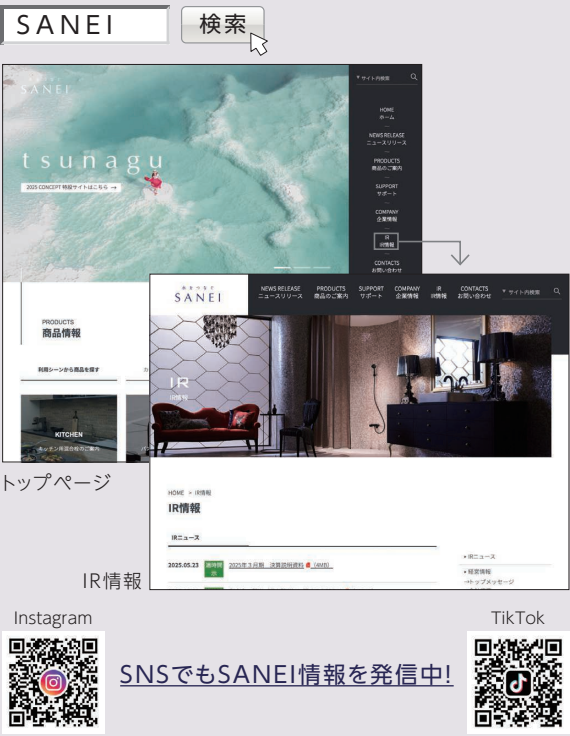
発行可能株式総数 15,680,000株
発行済株式総数 4,578,000株
株主数 1,144名
大株主

株 主 名	持株数	持株比率
西岡 利明	1,300,000株	28.40%
吉川 正弘	1,060,000	23.15
SANEI従業員持株会	315,100	6.88
SANEI会	189,400	4.14
夏目 和典	129,400	2.83
吉川 弘二	120,000	2.62
SANEI共栄会	119,800	2.62
梅田 藤三	80,000	1.75
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	67,100	1.47
尼見 幸一	62,400	1.36

ホームページのご案内

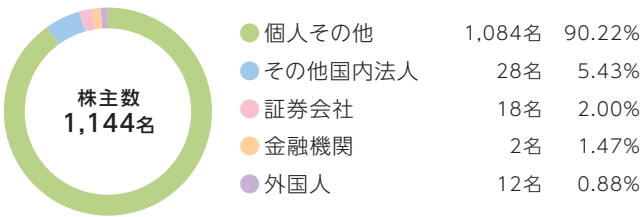
当社ホームページでは企業情報、事業紹介を随時開示しております。IR情報のサイトでは、経営情報、業績・財務情報等掲載しております。
今後も内容の充実に取り組むとともに、適時適切な情報開示を行ってまいります。

<https://www.sanei.ltd/>



所有者別株式分布

※比率は、各株主が所有する株式数の割合です。



株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同 連 絡 先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)
上 場 取 引 所 東京証券取引所 スタンダード市場
公 告 の 方 法 電子公告
(公告掲載URL)
<https://www.sanei.ltd/>
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

SANEI 株式会社

<https://www.sanei.ltd/>